

▼お申込方法

①電話・FAX・E-mailにてお申込みください。

TEL 03-3433-2721
【月～土 10:00～18:00、祝祭除く】

FAX 03-3433-2752

E-mail support@insight-counseling.com

①お名前、ご住所、電話番号(ご自宅or携帯)、
ご職業および経験年数(または臨床経験時間数)、
初級の方はFAP使用時間数を明記してください。

*参加資格詳細については弊社HPにてご確認ください。

②参加費は、お申し込み後、お早目に下記口座へ
お振込みください。お振込確認の時点で、お申込完了
といたします(当日のお支払いはできません)。
ご入金いただいた方から正式申込とさせていただきます、
定員になり次第募集を締め切ります。

＜銀行振込＞ 三菱UFJ銀行 新橋支店
普通 4920311
(株)インサイト カウンセリング
代表取締役 大嶋信頼(オオシマ ノブヨリ)

③ご都合で参加できなくなった場合、必ず取り消し
ご連絡をお願いいたします。10月29日(火)18時までに
ご連絡いただいた取り消しについては、手数料1,100円を
差し引き、残金を返金いたします。それ以降の取り消し
の場合、返金できませんのでご了承ください。(日・祝は弊社
休業のため電話・メールへの応答は致しかねます)。

▼講師 スケジュールの都合により変更される場合があります

米沢 宏 精神科医・医学博士 Hiroshi Yonezawa

ジャパンEAPシステムズ取締役／顧問医
筑波大学、同大学院修了。医学博士。精神科専門医・指導医。
認定産業医。臨床心理士。

精神科臨床に加え、産業精神保健、依存症問題、家族問題、思春期問題、
PTSD問題、組織論、カウンセラー養成など幅広い領域で活躍している。

大嶋 信頼 心理カウンセラー Nobuyori Ohshima

米国・私立アズベリー大学心理学部心理学科卒業。アルコール依存症専
門病院、周愛利田クリニックに勤務する傍ら東京都精神医学総合研究所
の研修生として、また嗜癮問題臨床研究所付属原宿相談室非常勤職員
として依存症に対する対応を学ぶ。嗜癮問題臨床研究所付属原宿相談
室室長、株式会社アイエフエフ代表取締役を経て、現在株式会社インサ
イト・カウンセリング代表取締役。

泉 園子 公認心理師・臨床心理士 Sonoko Izumi

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。株式会社IFF電話相談
室室長、IFF相談室室長を経て、現在株式会社インサイト・カウンセリング
室長。2003年4月から2013年3月まで世田谷区鳥山保健福祉センター
にて、酒害相談、依存症相談のファシリテーター及び講義、講演等を担当。

FAP (Free from Anxiety Program) セミナーのご案内

2019.11.9(Sat) - 10(Sun)

FAP療法

Version 13

『炎症』の元を
つきとめる！！



会場

TKP新橋汐留ビジネスセンター
東京都港区新橋4-24-8 第2東洋海事ビル
TEL03-5425-4626(事務所直通)

交通アクセス

- JR山手線「新橋駅」鳥森口 徒歩4分
- 都営浅草線「新橋駅」A1出口 徒歩3分
- ゆりかもめ「新橋駅」徒歩5分

株式会社インサイト・カウンセリング

東京都港区東新橋2-16-3 カーザベルソーレ4F

TEL 03-3433-2721 FAX 03-3433-2752

<http://www.insight-counseling.com>

Advanced Course

FAP上級コース 11月 9日(土)15時～19時
10日(日)10時～16時
(2日目は昼休憩1時間含む)

参加料 *上級コース初参加の方:80,000円
2回目以降の方:40,000円

*上級コース初参加の上級とは、X以降の上級を指します。

Ver. 13 Free from Anxiety Program

FAPで『炎症』の元をつきとめる！！

FAP上級セミナーについて

上級セミナーでは、毎年、「クライアントの症状に対してどの切り口で心理療法を行うか」という「最新のユニークな発見」が紹介され、アップデートされた上級バージョンを公開しています。FAPという心理療法は、実施方法も症状に対するアプローチも固定化せず、年々変化しておりますが、もちろん今年も新たな領域へと挑戦しています。今回公開する新しいFAPによって、人の影響を受けて自由に生きられなくなっているケースが、それをスルーして楽に生きられるようになるという、大変興味深い結果が得られています。これまでなかなか改善しなかったケースに今すぐ使いたくなるような新しいバージョンのFAPです。今回も楽しく皆様と共有できたらと思っています。

症状の元になっている『炎症』の原因を探す！

皆さんが普段臨床をしている中で、治療をしてもずっと苦しみから抜けられないと感じていらっしゃるクライアントさんのことで悩んでいるケースがあるのではないのでしょうか。

このようなケースについては、常識的な考えや改善方法を提案したところで本人の症状はなかなか変わらないものです。厄介な人と関わっているために苦しみが続いているケースも多いですが、その厄介な人と離れるということ自体が容易ではないことも多々あります。

最近すっかり定着しつつある「カサンドラ症候群/カサンドラ状態」という言葉があります。家族や身近な人が自閉症スペクトラム障害(ASD)であると、抑うつや身体的不調等の心身症状に見舞われるというもので、そのような人々のことを指してこう呼ばれます。カサンドラ症候群はDSMの診断基準にある疾患名ではないため、あまりFAPの中でも扱ってこなかった概念でしたが、実際にセラピーを行っていくと、ほとんどのケースにこれが当てはまるのではないかと見えてきました。

実際の面接では、カサンドラ状態にあるケースは「どうすればいいんでしょうか？」という形で悩みや苦痛を訴えることが多く、人からの影響で膠着してしまっていることは見えていても、本人も治療者も互いに、ここから脱却する方法を見出せずに苦悩する場面が多々見られます。

そこで、今回FAPによって導き出された新たな切り口が『炎症』という概念です。

カサンドラに関する研究は発達障害の専門家が日々熱心に取り組んでいらっしゃいますが、炎症反応が起きている、という切り口でこの現象を捉え、かつセラピーまで行ってしまう、というのは非常にユニークな取り組みだと思います。

今回のFAPでは炎症の元になっている「抗体」について検討し、その暴走を食い止めてしまおう、というアプローチを行っています。抗体の他「ウイルス」「たんぱく質」「腸内細菌」なども炎症の原因になっている可能性があります。これをどうやって検討するのか、そして、どうやってセラピーに取り入れるのか、そのあたりを講義、解説し、実際に皆さんで使ってみたいと思います。

これまでのFAPの歴史の中で、心的外傷の問題、発達障害の問題、脳、血糖値、てんかん様発作等、様々な切り口からクライアントへのアプローチを行ってきました。今回の「炎症の元に迫る」というアプローチは、これまでのFAPの流れを総括するような内容になっています。心理カウンセリングを行う上で重要なことは「何で発作が起きているかを捉えること」であり、その発作を止めることが症状の改善につながるものと考えています。今回の上級FAPではその発作の原因を素早く捉えること、そして、その原因に対処的なアプローチを行うことを目指した内容になっています。

そして、「炎症」の元になっている原因(抗体など)の特定は、今回のセミナーではリストから簡単に検索できるようになっていますので、専門的な知識がなくても治療の中で実践が可能です。

セミナーの講義の中でも、それぞれの抗体やウイルス、たんぱく質、腸内細菌等の働きや、精神症状との関連について説明する予定です。クライアントさんの根本的な症状の解決を追究したいと考えていらっしゃる臨床家の方々には、ぜひ奮ってご参加いただきたいと考えています。

クライアントさんがこれまでとは違った認知、対人関係様式、人格特徴を獲得していく様子が見られる、大変面白い療法になっています。多くの先生方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

◆今回のセミナーでは、Ver.13の実践の際、「心に聞く」と「クエリ」を用いることが必須となります。セミナーに参加される方は、初級セミナーで教わったチューニングの練習と、指で反応を見る「クエリ」の練習、及び心に聞くという手法について練習を行った上で臨んでください。

※「心に聞く」の方法が不明の方は、大嶋信頼著『リミットレス』(出版社)を御参照ください。

◆当日は会場の関係で空調の調節が難しい場合がございます。各自調節できる服装でご参加下さい。

FAP上級コース プログラム

11月9日(土)15:00～19:00

●FAP Ver.13の新しい主軸の紹介
～「抗体」「たんぱく質」「ウイルス」「腸内細菌」と精神症状との関連について～

*途中15分程度の休憩を予定しています。

11月10日(日)10:00～16:00 (昼休憩12:00～13:00)

●これまでのFAPの流れと今回の新たな取り組みとの関連について(講義・予定)
～FAPならではのユニークな点について

●新しい主軸を用いたVer.13の実践 他
*昼休憩1時間あり。(予定:12:00～13:00)

*両日とも、内容はあくまでも予定です。内容の変更がある可能性があります。